

## 精神障害作業療法治療学演習

【科目名】精神障害作業療法治療学演習		【担当教員】長谷川 裕、藤本 聡 (メールアドレス)							
【授業区分】専門分野 (作業療 法治療学)	【授業コード】 4-23-0900-0-1	(オフィスアワー) 事前に連絡を下さい。							
【開講時期】3 年次 前期	【選択必修】必修								
【単位数】1 単位	【コマ数】15 コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・基本的に講義は出席すること。やむをえず欠席・遅刻・早退する場合は、できる限り早く連絡すること。 ・欠席した場合、資料は教科担当者まで取りに来ること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・予習課題を行ってから講義に臨むこと。 ・指定図書、参考書は出来る限り読むこと。視聴覚教材は出来る限りグループで視聴すること(借りた場合)。									
【講義概要】 (目的) 統合失調症やうつ病及び認知症といった精神障害に対する適切な作業療法技術の習熟を目的とする。 (方法) 専任教員の指導を仰ぎながら各種精神障害に対する作業療法技術の演習を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・各疾患に応じた作業療法評価から問題点抽出までの技術を修得する。 ・専任教員の指導を仰ぎながら各種精神障害に対する作業療法技術の演習を行う。									
【行動目標(SBO)】 ・主たる対象疾患の臨床像を理解できる。 ・実践事例における作業療法の評価・治療・指導・援助について説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 参考書のコピーもしくは DVD を視聴します。									
【参考書】 ・D. ペン, D. ロバーツ他著 『社会認知ならびに対人関係のトレーニング(SCIT: Social Cognition and Interaction Training)』星和書店, 2011 年, ¥7,344									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・本講義の成果発表 (50%)、ポートフォリオ (50%) の割合で総合的に評価を行う。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合					50		50		100 点
評 価	取り込む力・知識								0
	思考・推論・創造の力				25		25		50

平成 26～28 年度入学者用

指	コラボレーションとリーダーシップ							0
標	発表力							0
	学修に取り組む姿勢				25		25	50

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	オリエンテーション セッション1 導入	講義	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
2	セッション2 導入	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
3	セッション3 感情と社会的状況	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
4	セッション4 感情を定義づける	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
5	セッション5 他者の感情を推測する	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
6	セッション6 感情推測の更新	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
7	セッション7 疑心	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
8	セッション8 結論への飛躍	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
9	セッション9 方略1：他の事実を考えつく	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
10	セッション10 方略1：他の事実を考えつく	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
11	セッション11 方略2：事実と推測を区別する	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
12	セッション12 方略2：事実と推測を区別する	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
13	セッション13 方略3：さらに証拠を固める	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
14	セッション14 方略3：さらに証拠を固める	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90
15	まとめ	講義・演習	ポートフォリオ作成・グル ープ学習	90

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。